

2022 年度臨床研究 Award の受賞者決定について

会員 各位

周産期臨床研究コンソーシアム委員会

委員長 齋藤 滋

副委員長 左合治彦

早川昌弘

周産期臨床研究コンソーシアム委員会では、昨年に続き 2 回目となる、「日本周産期・新生児医学会臨床研究 Award」の応募を行いました。その結果、15 題の臨床研究の応募がありました。多くの応募に感謝申し上げます。

委員会において、臨床研究（特定臨床研究または医師主導治験）の研究企画であることと、多施設共同前方視的疾患レジストリの研究企画であることを評価の主眼とし、外部の臨床研究の専門家による意見も参考とさせていただき、委員及び幹事による一次評価、一次評価を基にした委員長と副委員長による二次評価を行いました。更に、二次評価結果について理事会で審議した結果、下記 4 課題を 2022 年度臨床研究 Award として採択しましたので、ご報告いたします。

【採択された臨床研究】

1. 高橋 健（東京慈恵会医科大学附属病院）
無侵襲的胎児 RHD ジェノタイピング技術による胎児 RhD 血液型診断の大規模多施設共同実証研究と医師主導治験に向けた前方視的レジストリの構築
2. 村田 晋（山口大学医学部附属病院）
慢性胎盤剥離と CAOS に関する分娩成績、新生児成績についての多施設共同研究
3. 木下 大介（京都第一赤十字病院 新生児科/京都府立医科大学 小児科）
生後早期の very preterm infant に対する「複合的な抗菌薬適正使用プログラム」の普及効果に関する多施設共同前向き試験
4. 原 香織（慶應義塾大学病院）
早期新生児期から開始するビタミン D 週 1 回投与により、乳児の Vitamin D insufficiency を予防できるか

若手医師の臨床研究の立ち上げを支援することにより、周産期領域の新たなエビデンスの確立や新規診断法等に繋がっていくことを期待しております。本 Award は、毎年募集しますので、会員の皆様からの多くの応募をお待ちしております。